

令和7年度

徳島県学カステップアップテストを

活用した学習指導について【小学校・国語】



令和7年4月

令和7年度
小学校第5学年
国語

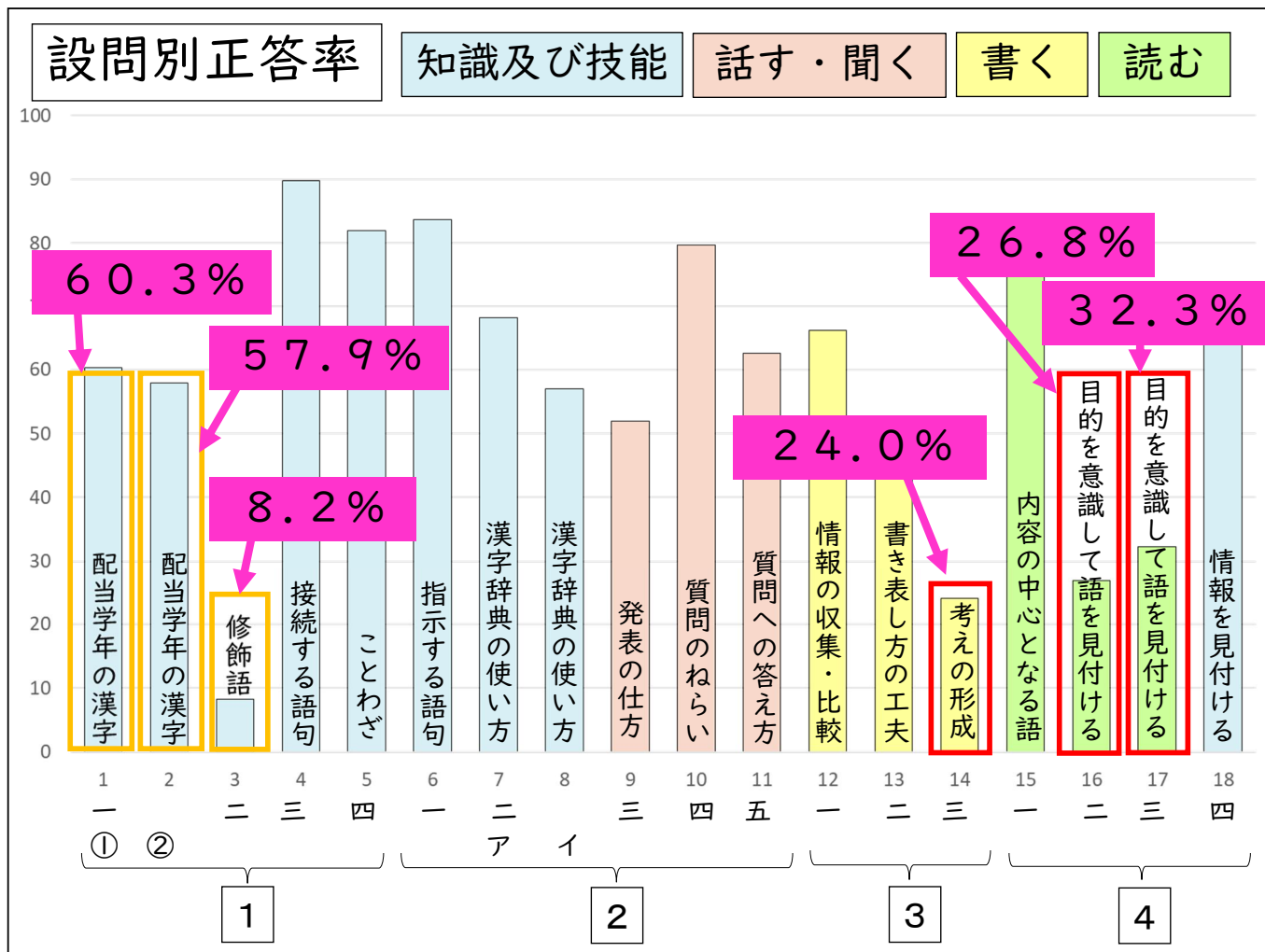
- 注意
- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
 - 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、名前を書いてください。
 - 3 問題は、1ページから14ページまであります。
 - 4 答えは、すべて解答紙の指示された場所にはつきりと書いてください。

組	出席番号	名前

平均正答率・領域別正答率 (%)

	全体正答率	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
令和7年度 5年生	57.9 (3.1)	64.2 (1.8)	64.7 (1.2)	45.2 (3.6)	45.2 (8.1)
令和6年度 4年生	54.3 (5.4)	71.3 (1.4)	37.9 (2.8)	40.7 (7.0)	42.7 (14.1)

※ () は無解答率



令和7年度 ステップアップテストの結果・分析から

成果

○知識及び技能

- ①接続する語句の役割を理解する。
- ②ことわざについて理解する。
- ③指示する語句の役割を理解する。
- ④目的を意識して、必要な情報を判断し、見付ける。

○思考力、判断力、表現力等

- ①質問をするときに、自分が聞きたいことを発言する。
- ②目的に応じて、文章の内容の中心となる語を見付ける。

令和7年度 ステップアップテストの結果・分析から

課題

○知識及び技能

- ①漢字(同音異義語)を正しく使う。
- ②修飾語について理解する。

○思考力、判断力、表現力等

- ①話の構成を考え、分かりやすく伝える。
- ②相手や目的を意識し、書き表し方を工夫する。
- ③事実と考えとの関係を明確にし、書く。
- ④目的に応じて、文章から必要な言葉を見付ける。

大問1 (知識及び技能)

一 漢字(同音異義語)を正しく使う

① 新さつが発行された。

- 1 自分の家の表さつをたしかめる。
2 へちまの観さつ日記を付ける。
3 兄は印さつ会社で働いている。

60.3%

② 原こうをせい書する。

- 1 せい式な通知がとどいた。
2 美しいせい流をながめる。
3 安せいにすごす。

57.9%

○同じ読み方をする漢字を注意して使う。
○自分の表現に使える場を設定する。

大問1 (知識及び技能)

二 修飾語について理解する

「遊んでいた」を修飾する言葉をすべて

- 1 日曜日に
2 公園で
3 たくさんの
4 子どもが
遊んでいた。

8.2%

(令和6年度5年)
「さいている」を修飾する言葉をすべて

- 1 野原に
2 黄色い
3 花が
4 たくさん
さいている。

8.3%

(令和6年度4年)
「さきました」をくわしくしている言葉

- 1 黄色い
2 小さな
3 花が
4 たくさん
さきました。

33.2%

大問1 (知識及び技能)

二 修飾語について理解する

たくさんの

元気な

笑顔あふれる

子どもが

日曜日に

公園で

遊んでいた。

あせをいっばい

かきながら

○修飾語を意識させる。
○文章の推敲指導を取り入れる。

大問2 話すこと・聞くこと

三 話の構成を考え、分かりやすく伝える

田中さんのクラスでは、生活の中で、ぎ問に思っていることについて、調べたことを発表することになりました。

① 田中

わたしは、雲について調べました。なぜ、調べたかというところ、学校から帰っているときに空を見上げると、不思議な雲があったからです。今から、三つのことについて発表します。

一つ目は、「雲のでき方」についてです。雲は、地面の近くにある空気のかたまりが上空へ上ってできます。雲は、とても小さな水や氷のつぶが集まってできているそうです。

二つ目は、「雲の種類」についてです。雲は主に形によって、十種類に分けられています。そして、それぞれの雲には、形によって、名前がつけられています。

三つ目は、「わたしが見た不思議な雲」についてです。わたしが見たのは、白くて細い線のような雲です。わたしは、それが気になりました。図かんで調べてみると、その雲は「飛行機雲」という名前でした。みなさんは、見たことがありますか。「飛行機雲」は、飛行機が通ったあとに、白いすじのようのできる雲です。飛行機のエンジンから出たはい気ガスの水じょう気が、外の冷たい空気にふれて水がつぶになります。上空に水分が多く、温度が低いときによくできるそうです。

雲について調べてみると、もっと知りたくなりました。次は、雲の動き方や季節によってできる雲のちがいにしても調べてみようと思います。何かしつ問はありますか。

大問2 話すこと・聞くこと

三 ①田中さんの発表の仕方にあてはまるものはどれですか。

- 伝えたいことについて、
- 1 友達の考えとくらべながら話している。
 - 2 てい案をして、みんなに意見を求めている。
 - 3 図や表を見せて、わかりやすく説明をしている。
 - 4 内よりのまとまりを整理して、話している。

51.9%

①田中

わたしは、雲について調べました。なぜ、調べたかというと、学校から帰っているときに空を見上げると、不思議な雲があったからです。今から、三つのことについて発表します。

一つ目は、「雲のでき方」についてです。雲は、地面の近くにある空気のかたまりが上空へ上ってできます。雲は、とても小さな水や氷のつぶが集まってできているそうです。

二つ目は、「雲の種類」についてです。雲は主に形によって、十種類に分けられています。そして、それぞれの雲には、形によって、名前がつけられています。

三つ目は、「わたしが見た不思議な雲」についてです。わたしが見たのは、白くて細い線のような雲です。わたしは、それが気になりました。図かんで調べてみると、その雲は「飛行機雲」という名前でした。飛行機は、見たことがありますか。「飛行機が通ったあとに、白いすじのよう

○場面や相手を意識した発表の仕方を検討する。

○伝えたいことが聞き手に分かりやすい構成を考える。

大問2 話すこと・聞くこと

田中さんの発表は、何について発表するかが、はっきりとしていますね。

調べたことについて、最初に「三つのことについて」と言っているのもいいですね。

知らないことについても、ていねいに説明してくれているから、よくわかります。

①田中

わたしは、雲について調べました。なぜ、調べたかというと、学校から帰っているときに空を見上げると、不思議な雲があったからです。今から、三つのことについて発表します。

一つ目は、「雲のでき方」についてです。雲は、地面の近くにある空気のかたまりが上空へ上ってできます。雲は、とても小さな水や氷のつぶが集まってできているそうです。

二つ目は、「雲の種類」についてです。雲は主に形によって、十種類に分けられています。そして、それぞれの雲には、形によって、名前がつけられています。

三つ目は、「わたしが見た不思議な雲」についてです。わたしが見たのは、白くて細い線のような雲です。わたしは、それが気になりました。図かんで調べてみると、その雲は「飛行機雲」という名前でした。みなさんは、見たことがありますか。「飛行機雲」は、飛行機が通ったあとに、白いすじのように見える雲です。飛行機から出たはたきのような水じょう気が、外の冷たい空気にふれて水のつぶになります。上空に水分が多く、温度が低いときによくできるそうです。

雲について調べてみると、もっと知りたくなりました。次は、雲の動き方や季節によってできる雲のちがいについても調べてみようと思います。何かしつ間はあります。

○モデルを使って、構成の検討をする。見付けたよさを観点として示す。



大問3 書くこと

谷口さんの学級では、「学校でいちばんお気に入りの場所」についてしようかいしようか
 さんお気に入りの場所」についてしようかいしようか
 いするのために、タブレットで考えを整理
 し、文章を書くことにしました。

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生の心に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしよようかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

【谷口さんの文章の下書き】

学校でいちばんお気に入りの場所

わたしが、しようかいしたいいちばんのお気に入りの場所は図書館です。

お気に入りの理由は二つあります。

一つ目は、「先生のおすすめの本」のコーナーがあることです。このコーナーでは、先生方が小学生のときに読んでいた本がしよようかいされています。「先生のおすすめの本」のよいところは、先生の心に残った場面が書かれているので、そこに注目して読み進められるところです。

二つ目の理由は、「図書委員による読み聞かせ」があることです。毎週本曜日の昼休みに、図書委員による読み聞かせが行われています。わたしは、いつも友達をさそって行くようにしています。「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、

7

これらの理由から、図書館は、わたしにとっていちばんのお気に入りの場所です。ぜひ、みなさんも、図書館に足を運んでみてください。

【谷口さんのタブレットの画面】

3 谷口さんの学級では、「学校でいちばんお気に入りの場所」についてしようかいしようかのために、タブレットで考えを整理し、文章を書くことにしました。次の「谷口さんのタブレットの画面」を、あとの問いに答えましょう。

「谷口さんのメモ」

「谷口さんの文章の下書き」

1 谷口さんは、文章を書くことを決めるために、「谷口さんのタブレットの画面」で、その説明として整理したわしいものを、次の1から4までの中から一つ選びましょう。

- 1 よい点と問題点を分け、内よようを整理している。
- 2 書きやすい順番を、内よようを整理している。
- 3 中央の言葉からだんないで、分けて、考えをつないでいる。
- 4 自分が知りたいことを中心に書き、考えをつないでいる。

- 7 -

ICTの活用

大問3 書くこと

○学校のお気に入りの場所をしようかいしよう

池

広場

花だん

図書館

教室

運動場

音楽室

中庭

一 谷口さんは、文章に書くことを決めるために、タブレットでどのように考えを整理したか。

大問3 書くこと

○情報を整理することで、伝えたいことが明確になることを児童が実感できるようにする。

学校でいちばんお気に入りの場所を
しょうかいしよう

○長い時間すごす。
○友達がいる。
○休み時間に、話したり遊んだりできる。

○池がある。
○季節ごとにきれいな花がさく。
○ベンチがある。

教室

中庭

学校の
お気に入りの場所

図書館

運動場

○本を集中して読める。
○先生のおすすめの本がしょうかいされている。
○図書委員による読み聞かせがある。

○鉄ぼうの練習ができる。
○走ったりとんだりして、体を動かせる。
○他の学年の子といっしょに遊べる。

【谷口さんのタブレットの画面】

一 谷口さんは、文章に書くことを決めるために、タブレットでどのように考えを整理したか。

大問3 書くこと

○情報を整理する中で、足りない情報に気づき必要に応じて情報を収集する。単元構成を工夫する。

学校の
お気に入りの場所

図書館

運動場

○本を集中して読める。
○先生のおすすめの本がしょうかいされている。
○図書委員による読み聞かせがある。

○鉄ぼうの練習ができる。
○走ったりとんだりして、体を動かせる。
○他の学年の子といっしょに遊べる。

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生的心に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしょうかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

一 谷口さんは、文章に書くことを決めるために、タブレットでどのように考えを整理したか。

大問3 書くこと

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしょうかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

学校でいちばんお気に入りの場所

わたしが、しょうかいしたいいちばんのお気に入りの場所は図書館です。

お気に入りの理由は二つあります。

一つ目は、「先生のおすすめの本」のコーナーがあることです。このコーナーでは、先生方が小学生のときに読んでいた本がしょうかいされています。「先生のおすすめの本」のよいところは、先生に残った場面が書かれているので、そこに注目して読み進められるところです。

二つ目の理由は、「図書委員による読み聞かせ」があることです。毎週木曜日の昼休みに、図書委員による読み聞かせが行われています。わたしは、いつも友達をさそって行くようにしています。「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、

ア

24.0%

三 谷口さんは、「谷口さんの文章の下書き」の【ア】に、「谷口さんのメモ」をもとにして考えた「読み聞かせ」のお気に入りの理由を書こうとしています。あなたが谷口さんなら、【ア】に入る内容をどのように書きますか。次の【条件】に合わせて書きましよう。

大問3 書くこと

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしょうかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

答え例

例
（「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、）
リクエストされた本を読んでいるので、いろいろな本に出合うことができると思います。

例
（「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、）
学年に合わせて本を読んでいるので、どの学年も楽しんで聞くことができると思います。

例
（「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、）
気持ちをこめて読んでいるので、本の世界にひたって聞くことができると思います。

【条件】
○【谷口さんのメモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○取り上げた言葉や文と、自分で考えた「読み聞かせのよいところ」を結びつけて書くこと。
○「『読み聞かせ』のよいところは、図書委員が、」に続けて書き始め、三十字以上、四十字以内で書くこと。

三 谷口さんは、「谷口さんの文章の下書き」の【ア】に、「谷口さんのメモ」をもとにして考えた「読み聞かせ」のお気に入りの理由を書こうとしています。あなたが谷口さんなら、【ア】に入る内容をどのように書きますか。次の【条件】に合わせて書きましよう。

大問3 書くこと

○書き表し方の工夫について話し合う場面を設定する。
○教師が観点を明確に示す。

【谷口さんの文章の下書き】

学校でいちばんお気に入りの場所

わたしが、しょうかいしたいいちばんのお気に入りの場所は図書館です。

お気に入りの理由は二つあります。

一つ目は、「先生のおすすめの本」のコーナーがあることです。このコーナーでは、先生方が小学生のときに読んでいた本がしょうかいされています。「先生のおすすめの本」のよいところは、先生の心に残った場面が書かれているので、そこに注目して読み進められるところです。

二つ目の理由は、「図書委員による読み聞かせ」があることです。毎週木曜日の昼休みに、図書委員による読み聞かせが行われています。わたしは、いつも友達をさそって行くようにしています。「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、

ア

これらの理由から、図書館は、わたしにとっていちばんのお気に入りの場所です。ぜひ、みなさんも、図書館に足を運んでみてください。

三 事実と考えとの関係を明確にし、書く。

言語活動の土台づくり 書く習慣を育てる指導

書くことがおもしろい！楽しい！

授業や日常的に「書く」場面を組み込んでいく。

少しずつ・・・継続的に書き慣れさせる。

日記の例・・・一言感想、なりきり日記、もしもシリーズ、手紙、○○紹介、テーマ日記、学習日記 等

○具体的に表現することで、より分かりやすく伝えることを実感させる。

○「くわしく書く」「様子が分かるように書く」とは、どういうことか、具体的にモデルを示す。

言語活動の土台づくり 書く習慣を育てる指導

「書くことがない。」
「何を書いてよいか分からない。」
(題材をみつけることができない)
「どのように書けばよいのか分からない。」
「うまく書く自信がない。」



表現できる子どもを育てる3つのポイント

伝えたい「内容」がある。
伝える「技術」がある(方法がわかる)。
お互いを認め合い、伝える「場」がある。



目的意識

相手意識

場面意識

言語活動の土台づくり 書く習慣を育てる指導

「書くこと」は、「考えること」
自分の考えを書く

- ➡ 自分の考えを振り返る。
- ➡ 自分の考えが整理される、分かる。
- ➡ 新しい考えが生まれる。

繰り返し行うことにより、
考えが深まっていく

とにかくほめる！

まず、伝えたい思いが書けたことや構成、
上手な表現などを具体的にほめましょう。



教師がよき読者になる
安心させる

学習指導に当たって

条件に即して書く

- 目的に応じるように
- 示された観点より
- 選択した情報（観点）を用いて
- 示された言葉・表現を用いて
- 書き出し・書き結びを用いて
- 字数の範囲指定

○ 「考えの形成」にあたり、手引きとして示してみる。

- ・ これらの観点から一つ選んで書いてみよう
- ・ ここに挙げた言葉から選んで書いてみよう
- ・ ここに挙げた書き出しを使ってみよう
- ・ ここに挙げた書き結びを使ってみよう

※アウトプット（発信・表現）を求めるなら、手引きとなる情報（例）をインプットできるように教材研究をしておくこと。

※例文を書き、準備しておくこと。

「私（指導者）ならこう書くよ。もし、似た考えだ、という人は、参考にしてみてね。」

学力向上のための授業改善

目指す子供の姿

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する活動において、目的や意図に応じて、必要な情報を選び、他者と伝え合うことを通して、自分の思いや考えをもったり、まとめたり、広げたりして、表現することができる。
- 課題解決に向けて活動に粘り強く取り組むなかで、言葉を通じて人と関わり、言葉がもつよさを認識しようとしたり、言葉をよりよく使おうとしたりしている。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

① 育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、子供一人一人に最適な学びを重ねていく場の設定

- ◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用し、子供一人一人のつまずきを捉えて指導する。
- ◇国語科で育成した資質・能力を他教科等の学習に生かすことができるように、教科等横断的な学習の充実を図る。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

② 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開

- ◇語彙の量と質の充実を図るために、読書活動の推進や実生活に関連した言語活動を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使わせることに、継続的に取り組む。
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等指導と支援を通し、他者と協働しながら、主体的に学習を進める過程を設定する。
- ◇子供の実態を的確に捉え、実態に即して、学習過程を弾力的にし、螺旋的・反復的に繰り返したり取り立てたりして指導する。
- ◇目的や意図に応じて、必要な情報を取り出して整理し、その関係を捉えることで、話や文章を正確に理解したり、自分のもつ情報を整理し、その関係を明確にすることで、適切に表現したりする活動を設定する。
- ◇言葉による見方・考え方を働かせるために、子供が比較・分類・関係付け等様々な思考に取り組むよう発問や指示を工夫する。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

③身に付けた資質・能力や学習内容をICT活用等により自覚化を図る指導の充実

- ◇多様な学習の記録（ノート、成果物、映像等電子データ）が生まれるように工夫する。
- ◇「書くこと」を通して振り返りをさせるとともに、ICTの効果的な活用により、学びを深めさせる。

「国語科における『令和7年度の重点』」より